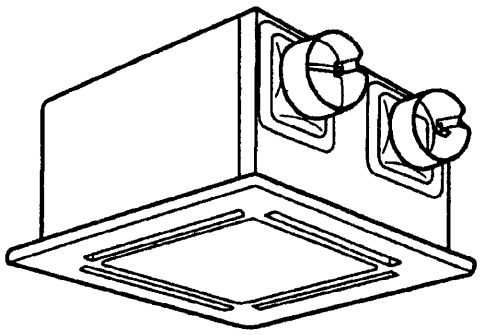
TOSHIBA

東芝空調換気扇（天井埋込形）
取扱説明書

形 名

VFE-125FPM



もくじ

安全上のご注意 ……1～2
各部のなまえ ……3
仕様 ……3
操作のしかた ……3
お手入れのしかた ……4～6
パネルを天井板に合わせる場合 ……3
修理を依頼される前に ……7
修理とお取り扱いのご相談は ……7

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

＜生産完了 2009年08月25日＞

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します

図記号の例

図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

⚠警告

取付・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること

取付工事が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

取付は依頼

取付は、取付説明書に従って確実に行うこと

取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

確実に取り付ける

改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。

改造禁止

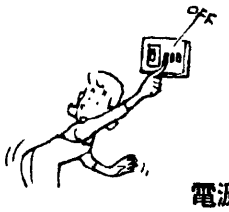
修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

分解・修理禁止

こげ臭い、煙がでているなど、異常のときは、運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること

異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因になります。
※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



電源を切る

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気すること

電源スイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。

窓を開ける

＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM(2/8)

⚠警告

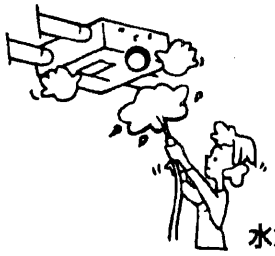
お手入れのときは運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

電源を切る

電気部品に水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしないこと

漏電により火災・感電の原因になります。



水かけ禁止

化粧枠の隙間から棒や針金などを入れないこと

感電・けがの原因になります。

接触禁止

アースは確実に取り付けること

故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。

アースを接続する

ぬれた手でスイッチに触れないこと

感電の原因になります。

水ぬれ禁止

電源は交流100Vを使うこと

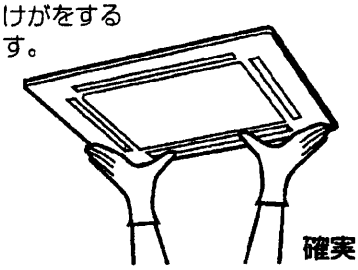
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

交流100V使用

⚠注意

化粧枠・熱交換器などの部品は確実に取り付けること

落下により、けがをする原因になります。



確実に取り付ける

本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと

本体・部品の落下によりけがの原因になります。

使用禁止

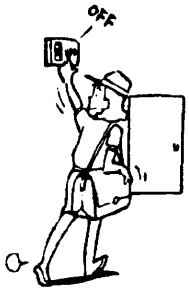
金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触しないこと

漏電したとき、火災・感電の原因になります。

接触禁止

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ること

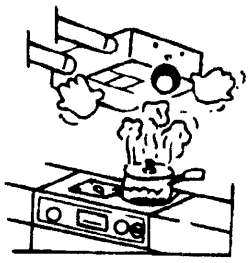
絶縁劣化による、火災・感電の原因になります。



電源を切る

直接炎があたる恐れのある場所には取り付けないこと

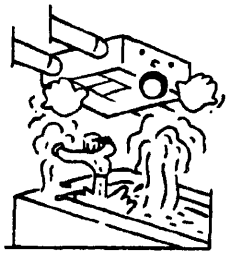
火災の原因になります。



取付禁止

浴室など湿気の多いところでは使わないこと

火災・感電の原因になります。



使用禁止

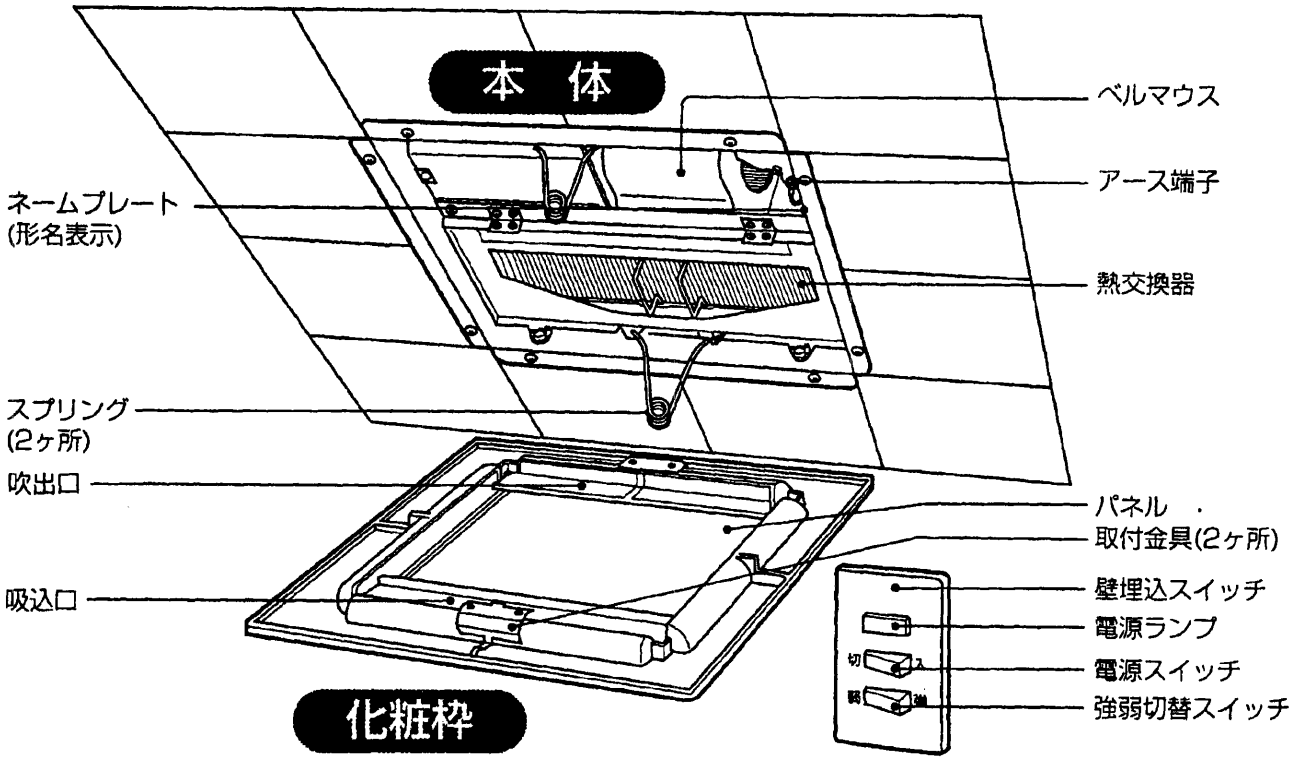
お手入れのときは、ゴム手袋を着用すること

手袋を着用しないとけがの原因になります。

手袋着用

＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM(3/8)

各部のなまえ



仕様

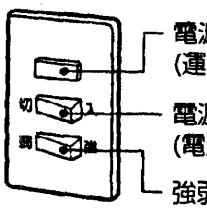
(50Hz・60Hz共用)

電　圧 (V)		消費電力 (W)		風量 (m^3/h)		騒音 (dB)		温度交換効率 (%)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
100	強	43	47	125	125	37	37	72	72	8.5
	弱	31	32	75	75	26	26	74	74	

●消費電力、風量〔静圧0Pa時〕、騒音の値はJIS C9603の測定方法に準ずる。

操作のしかた

壁取り付けのスイッチで電源の「入」「切」及び風量の「強」「弱」切り替えを行います。



電源ランプ
(運転中点灯します)

電源スイッチ
(電源の"入、"切"を行います)

強弱切替スイッチ
(風量の"強、"弱"切り替えを行います)

■ご使用場所について次のことを確認してください。

次の場所では、機能低下やプラスチック部品が変形したり絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。

●高温（40℃以上）となる場所

●台所など油煙の多い場所
熱交換器に油がついて目づまりをおこし使用不能になります。

■点検口があるか確認してください。

■換気扇が確実に取り付けられているか確認してください。

取り付けが不十分ですと振動したり異常音を発生します。

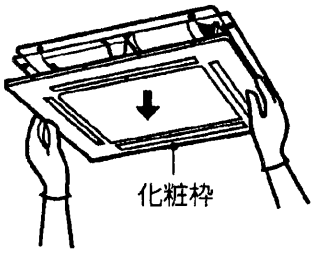
■取り付け場所、取り付けについて不具合のあったときは、お買い求めの販売店または工事店へご相談ください。

＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM (4／8)

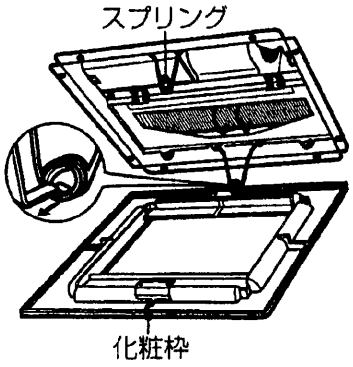
お手入れのしかた

化粧枠のはずしかた

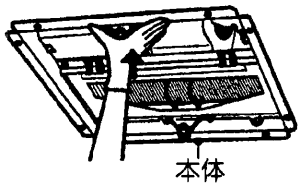
1 化粧枠が止まる位置までゆっくりと、真下へ引き下ろし、スプリングを固定します。



2 化粧枠を横にずらして、スプリングから化粧枠をはずします。



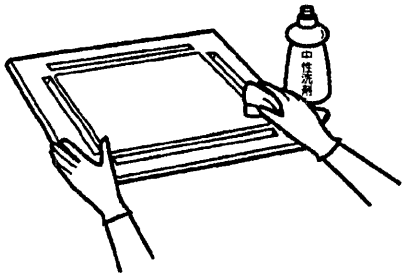
3 お手入れのとき変形させないためスプリングは本体内におし込んでください。



化粧枠のお手入れ

あまりよごれないうちに（3ヶ月に一度ぐらい）

●お手入れは中性洗剤をご使用ください。
変質・破損の原因となります。
●化粧枠は中性洗剤溶液に浸し、よくしぼった布でふきとります。
洗剤が残らないよう十分ふきとってください。
タワシなど固いものを使うと、きずがつきますのでおやめください。
●ベルマウスと本体は取り付けたまま汚れをふきとってください。



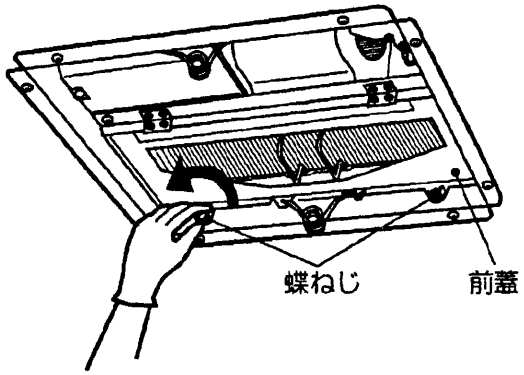
お願い

- 熱交換器・フィルターにほこりなどが多量に付着したまま運転しますと、機能低下をおこして故障の原因になります。
- ドライヤー、ストーブの温風など高温での乾燥はやめてください。フィルターが変形することがあります。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- プレフィルター・清浄フィルターを入れ忘れると熱交換器にごみがつまり、使えなくなることがあります。
- モーターなどの電気部品は、掃除のとき絶対に水に浸さないでください。
- 化粧枠や本体のお手入れの時、取り付け用の取付金具やスプリングを変形させないよう注意してください。
- スプリングに手をはさまないようご注意ください。

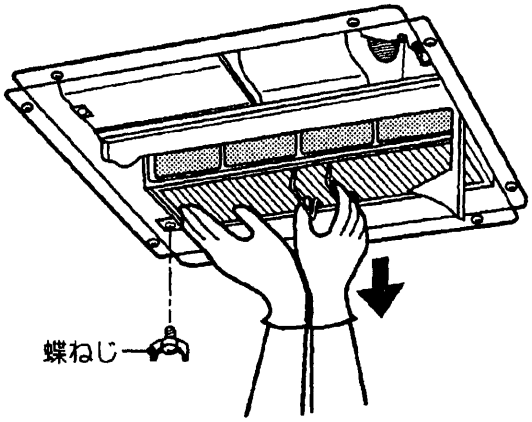
＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM（5／8）

熱交換器・フィルターのはずしかた

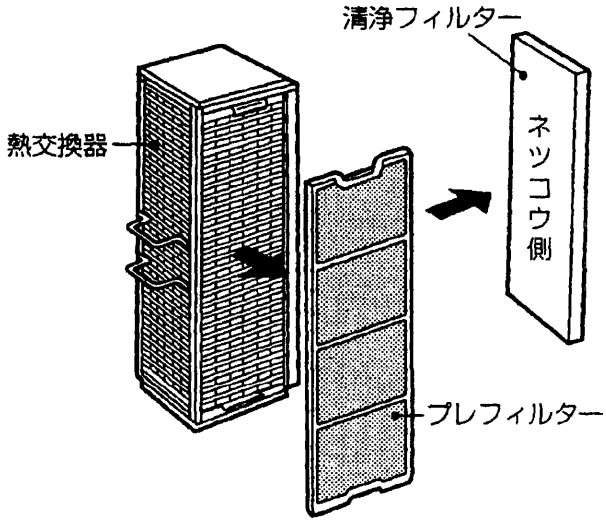
1 蝶ねじ2ヵ所をゆるめ前蓋を開きます。



2 蝶ねじをゆるめ、熱交換器のとってに下図のように指をかけ下へ引き出します。
熱交換器は落下すると危険ですから手で支えて操作してください。

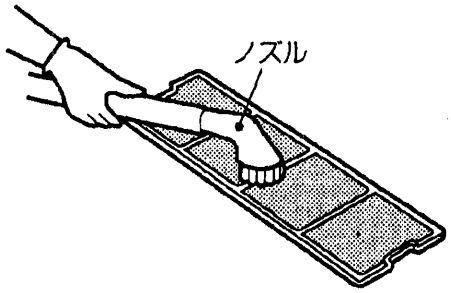


3 熱交換器からプレフィルターと清浄フィルターをはずします。



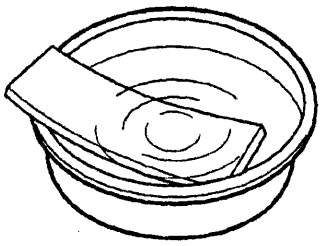
プレフィルターのお手入れ
(6ヶ月に1回以上)

■掃除機によりプレフィルターの表面のごみを吸い取ります。



清浄フィルターのお手入れ
(6ヶ月に1回以上)

■清浄フィルターは掃除機でホコリを吸い取りま
汚れのひどいときは、水か、ぬるま湯に中性洗
溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流し
ら、十分に自然乾燥させます。熱湯で洗ったり
み洗いや力を加えて曲げることは絶対にやめて
さい。

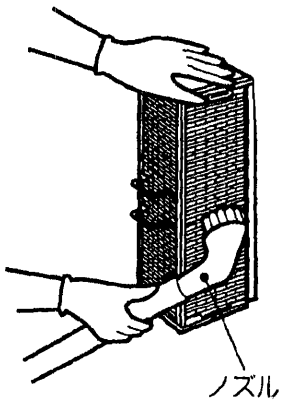


熱交換器のお手入れ
(1年に1回以上)

■掃除機により熱交換器の表面のごみ・ほこりを吸い取ります。

●掃除機のノズルは、ハケ付きのものを使い、ハケを軽く当てて掃除してください。
掃除機のノズルで熱交換器の目をつぶさないでください。

●熱交換器は紙ですので絶対に水洗いはしないでください。



＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM(6/8)

お手入れ後の組立

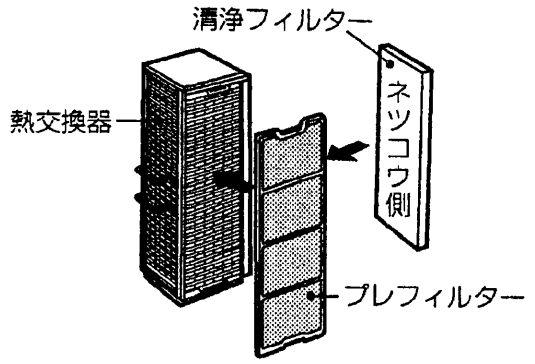
熱交換器・フィルターの取り付けかた

●お手入れが終わりましたら取り付けは次の順序で行ってください。

1.プレフィルターと清浄フィルターを熱交換器に取り付けます。
清浄フィルターは「ネツコウ側」と印刷されている面が熱交換器側になるよう取り付けてください。

2.プレフィルターと清浄フィルターを取り付けた熱交換器を本体に取り付けます。

3.前蓋および化粧枠を取りはずした逆の順序で本体に取り付けます。



化粧枠の取り付けかた

●化粧枠のはずしかたと逆の順序で取り付けてください。

●化粧枠が確実に取り付いていることを確認してください。
不完全ですと落下することがあり危険です。

取り付けが終わりましたら

●取り付けが終わりましたらつぎのことを確かめ異常がないか確認してください。

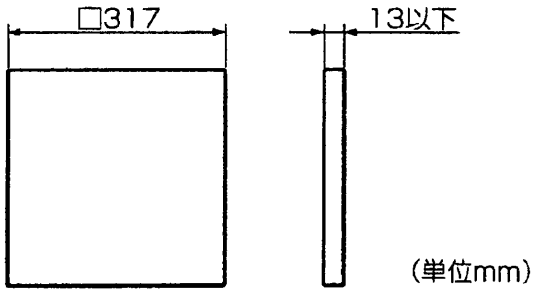
1.化粧枠や前蓋、プレフィルターと清浄フィルターを取り付けた熱交換器が確実に取り付いていること。

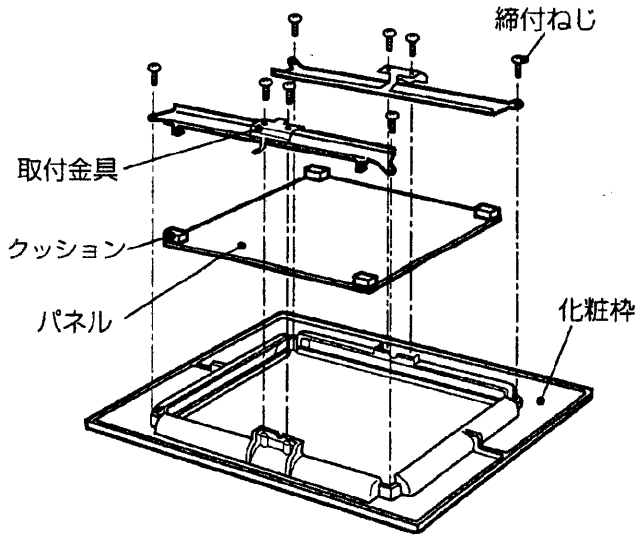
2.運転して異常な振動や騒音がないこと。

パネルを天井板に合わせる場合

■パネルは天井板と交換することができます。

1 天井板をパネルと同じ寸法に切断します。
（取り付けられる天井板の厚みは13mm以下です。）

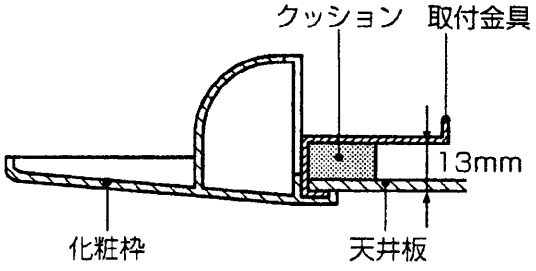




2 取付金具の締付ねじを取りはずします。

3 用意した天井板とパネルを入れ換えて、取りはずしと逆の順序で締付ねじ（8本）にて取り付けてください。

化粧枠との間に隙間がないように、パネルに貼り付けてあるクッションを切断して天井板とクッションの厚みが13mmになるように調整して取り付けてください。
締付ねじは、あまり強く締めつけないでください。



＜生産完了 2009年08月25日＞
VFE-125FPM（7／8）

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に異常音や振動がする。	●換気扇が確実に取り付いていますか。 ●羽根が確実に取り付いていますか。

● 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)
※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

修理とお取り扱いのご相談は

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』
0120-1048-41（フリーダイヤル）

新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
『東芝家電ご相談センター』0120-1048-86（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSからのご利用は　(03)3426-1048
FAX 03-3425-2101(365日　8：00～20：00受付)

※電話受付：365日　24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは　出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを切り、差込みプラグのあるものは差込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	空調換気扇（天井埋込形）
形　名	VFE-125FPM
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎（　　）　　－

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検　●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
●こげ臭いにおいがする。

ご使用中止

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店又は工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社　換気機器部
〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

ET99904901－①

<生産完了 2009年08月25日>
VFE-125FPM(8／8)